

取引先さま各位

## カカオ・チョコレート週刊ニュース 3号

2012/6/18 発行

株式会社 立花商店

生田 渉

お世話になります。カカオ・チョコレート関連のニュースを前週の出来毎の中から注目ニュースを 5 本ピックアップして、発行しています。カカオやチョコレート中心に取り扱っております弊社と致しましては、広く関係者の方々に読んでいただけるように、少しずつでも有益な情報をお届けできればと考えております。宜しくお願い致します。

### 1、インドネシア、14年にカカオ豆輸出停止も＝国内需要拡大で (6/13)

13日付のインドネシア・ファイナンス・トゥデー紙(31面)によると、同国カカオ産業協会(AIKI)のシンドラ・ウィジャヤ理事長はこのほど、2014年には同国のカカオ豆の輸出が停止するとの見通しを明らかにした。カカオ加工産業による需要が増加し、カカオ豆を全て国内で消費するようになると予想されるため。同理事長は、カカオ豆の需要が毎年拡大し、14年には60万トンに達すると予想。一方、カカオ豆の生産量は年50万トン程度で停滞するとしている。同理事長は、14年以降にカカオ豆の輸入が急増するとも指摘した。

### 2、ベトナム・カカオ生産2015年の40,000ヘクタール目標を下回る見込み(6/16)

ベトナムでは農家が新しい換金作物への転作と政府の正式な拡大計画がないことから2015年の作付面積目標であった40,000ヘクタールのカカオ生産面積には到達できない見込みが強いと報じられた。農業省の副事務次官のHoa氏によると、2011年末までに目標の半分にあたる20,500ヘクタール(約50,000エーカー)のカカオを植えたものの、今年に入りカカオの価格は2010年のピーク時に比べ25%程下落していることから、南州のカカオ農家は既にカカオからより収益の高いペッパーやその他のフルーツを育てることに変更をしているとのこと。

アジア豆の価格を決めるロンドン国際市場のカカオ価格は6/15付で1549ポンド/Mt。2011年3月の最高価格2,246ポンドからは31.6%下落している。

ベトナムはブラジルに次ぐコーヒー豆生産の世界第2位で、ロブスタ種の生産では世界1位であり、主要な産地は中部の高地地帯である。専門家はこの地域はカカオの生産にも適した場所であることを指摘しているが、この10年間はコーヒーのようにカカオ生産は発展せずに、昨年の輸出はわずか240トンにとどまっている。

43.5万トンの生産量があるインドネシアカカオと比較してみても、ベトナムのカカオ生産はなかなか拡大の軌道に乗れずにいる。

### 3,コートジ産カカオ着荷数量が 1,182,000 トンに。6月10日まで (6/11)

6月10日までのコートジボワールの港へのカカオ豆の着荷数量が 1,182,000 トンとなる見通しであると現地の輸出業者が推計した。これは、昨年同時期の 1,183,384 トンを僅かに下回る数字である。

また輸出業者は、コートジの2つの港に 6/4~6/10 の1週間で約 18,000 トンの着荷があったと見積もっており、これは昨年の同じ週の 29,672 トンと比較し下落した結果となった。週間の入荷が少ない状況である為、輸出者と、国内加工業者間のカカオ豆の買付け需要が増しており、コートジ国内でのカカオ豆価格が上昇している。しかしながら、コートジのミッドクロップの輸出豆基準の最大 I 20 粒/100 g を下回る 130~140 カウントの小粒豆が多く、輸出業者がカカオ豆を受け取らないことも今週の集荷量数量が少ない要因となっている。

### 4,コートジ産カカオ豆ミッドクロップ期は例年より短い=農家見通し (6/14)

コートジボワール西部のカカオ豆主産地ソブレでは干ばつが長引いたため、今年のミッドクロップ期は例年より短くなる見込み。しかしながら4月上旬からの雨量増加が功を奏し、2012-2013年のメインクロップは例年より早く開始されると予想される。

干ばつは3月までの5ヶ月間に及び、今年度のメインクロップ（11年10月~12年3月）短縮とミッドクロップの遅れを招いた。国際ココア機関（ICCO）によると11-12年度の同国生産見通しは135万トン。前年は過去最高の150万トンを記録したものの、今年は天候に恵まれなかった為 ICCO は減産を予想している。

### 5,現物のガーナ豆のプレミアム上昇。欧州商社はコートジボワールの不安要素に懸念 (6/15)

欧州市場ではコートジ（コートジボワールの略）の政情不安に対してのリスクヘッジの為、ガーナ豆に対しての需要が高まり、ガーナ産とコートジ産の価格差が拡大しつつあると欧州のカカオ商社が示唆した。

コートジでは、今現在も未爆発の爆弾の様な存在であるとカカオ商社は述べ、実際にいくつかのバイヤーはコートジ以外にも仕入先を分散化させる動きを決めている。実際、コートジで今週火曜日には、投獄されていた軍事幹部達により、現政権を転覆させようとする陰謀が発覚し、これが現政府により防がれたことや、先週7人の国連の防衛隊が殺された西部地域の国境近くの村で更に4人が殺された事件が報告されており、同国の政情に対する懸念は引き続いている。

ガーナのプレミアムは、先週はロンドン市場価格に対して95ポンド/Mtであったのに対して、金曜日現在で100ポンド/Mt。火曜日に上記のコートジの事件が報告された際には12

5 ポンド/MT まで上昇した。

一方、コートジ産に対しては、先週 75 ポンド/MT のプレミアムが今週は 70 ポンド/Mt へ下落した。

\*特記のない記事のソースはロイター通信社の記事より抜粋、要約、集約したものです。

\*その他のソースについてはソース名の根拠を記載するように致します。

《お問い合わせ先、配信希望または、停止のご連絡先》

株式会社 立花商店 東京支店 生田 TEL03-5783-3545

メールアドレス : w-ikuta@tachibana-grp. co. jp